

地域とのつながり

地球デザインスクールの活動に賛同・共感いただいた方から物品や活動でのご支援を受けた。
(五十音順、敬称略)

ご寄付 稲荷 毅、中村 孝太郎、
 碓 紀久子、松田 宏、山添 晶子

ボランティア活動 嶋田 勇

嶋田氏のハッチョウトンボ調査がメディアに取り上げられる。



セミナー動画制作



会員の板倉豊氏を講師に、生物多様性セミナー動画を作成。オンライン開催された「京都環境フェスティバル2020」にて放映。(現在も視聴可能)



板倉 豊氏

人材育成

大学生、高校生を中心にプログラムや園内整備の活動をいただいた。また、新規事業や組織基盤強化に関する研修・視察なども行った。

ボランティア

71名(京都府立宮津天橋高等学校、京都府立峰山高等学校、京都府立海洋高等学校など)



宮津天橋高等学校



海洋高等学校

インターン

20名(京都府立大学、京都府立宮津天橋高等学校)

研修生

1名

研修・視察

- ・新規事業検討のための先進施設視察(全8施設)
- ・星のソムリエ研修
- ・盛り付け・カットフルーツ講座
- ・事業継続力強化計画策定講座
- ・アメリカンエクスプレス・リーダーシップアカデミー など

活動の様子

日々の活動の様子は、SNSにて随時更新しています。ぜひご覧ください！
(いいね!&フォローもお待ちしております!)



アカウント名
f 地球デザインスクール



アカウント名
umihoshi9111



アカウント名
f 京都府立 丹後海と星の見える丘公園

アカウント名
@umihoshi9111

#うみほし
#umihoshi

活動に参加する

日程
応相談



プログラムや森づくりなどでは、様々な方のご協力が必要です。社会人の方も大歓迎！
ぜひ興味ある方はご一報ください！

E-mail/e-ds@e-ds.org

2020 年度事務局

いつでもお気軽にお声かけください！

- ・清水 睦・野木 俊宏・徳本 英明・太田 征紀・小島 広
- ・小林 秀美(非常勤)・倉野良太(研修生)



2020 年度 活動報告書 ANNUAL REPORT



理事長あいさつ



市瀬 拓哉

「未曾有」。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、この言葉が社会的に顕著に現れた1年だったのではないのでしょうか。それと同時に「変革」が起こり始める年でもあったと思います。当法人においても、緊急事態宣言による臨時休園や既存事業の実施が困難になった場面がいくつもありました。しかし、それらを好機と捉え、新たな事業がスタートするなど、次の時代に向けて動き始めた年でもありました。また、任期満了に伴い理事会体制も新たに舵を切りました。前任の水野理事長はじめ、昨年度まで理事を勤めていただいた方々の功績にこの場をお借りして感謝申し上げます。
地球デザインスクールは2020年度で設立から18年が経ち、その間に社会情勢はめまぐるしく変わっていく中で、これまでに培ってきた経験がより一層求められる時期でもあると思います。気持ち新たに理事会・事務局一体となって邁進していきます。

2020 年度のあゆみ

	2020 年												2021 年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	1月	2月	3月
公園事業 イベント・プログラム	緊急事態宣言のため 公園休園												緊急事態宣言のため プログラム中止 冬季休園		
通年事業 トピックス	団体受入 はらっぱようちえん どんぐりようちえん												新事務局体制スタート		

新理事会・事務局体制

今年度は理事の改選に伴い新たな理事会・事務局共に新たな体制・事業がスタートした。

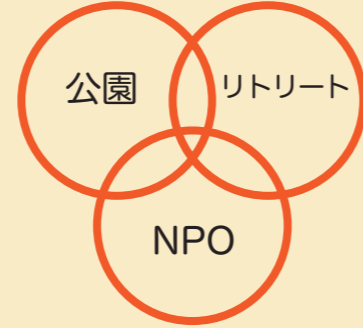
【新理事会】

任期満了に伴い、5月に理事の改選を行った。総勢5名の理事が選任され新たな法人運営が始まった。新理事は以下の通り。(敬称略・五十音順)

- ・市瀬 拓哉(理事長)
- ・奥谷 三穂(京都府立大学 客員教授)
- ・清水 睦(事務局長)
- ・西原 重樹(しおざり荘)
- ・安田 潤(宮津世屋エコツーリズムガイドの会 会長)

【新事務局体制】

これまでの主な事業であった公園事業の他に新サービス開発や組織基盤強化に特化した事業を開始した。



丹後海と星の見える丘公園事業

新型コロナウイルス感染拡大の影響で利用者が大きく減少した。これまでの団体向けサービス提供が困難な状況となったため、新たなプログラム等の開発も行った。

プログラム

- ・どんぐりようちえん(全4回):63名
- ・はらっぱようちえん(全5回):26名
- ・うみほしDAY(全8回):87名
- ・森づくりDAY(全8回):53名
- ・田ガキになろう!:22名
- ・いきもの大作戦:15名
- ・森の楽校:475名
- ・海の楽校:95名
- ・食の楽校:44名
- ・京都自然塾:258名
- ・小児救急医療講座(全1回):3名



はらっぱようちえん

- ・里山ラソン:43名
- ・うみほし警備隊:10名
- ・星空観望会(全10回):217名
- ・夏ガキになろう!ファミリー:15名
- ・TANGOはぐくみフェスティバル:45名
- ・宿泊体験プラン:99名



宿泊体験プラン



里山ラソン

環境教育に参加した人数

872名
前年度対比:41%(2081名)

プログラム
実施の学校数 **33**校
前年度対比:80%(41校)

自然体験・救急講座に参加した人数

269名
前年度対比:29%(923名)

イベントに参加した人数

429名
前年度対比:21%(2018名)

2020年度・公園に宿泊した人数

1210名
前年度対比:54%(2237名)

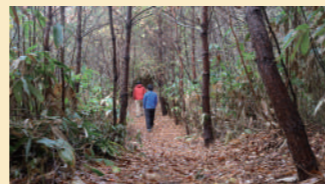
※宿泊棟、キャンプサイトの合算値

公園整備

5月の緊急事態宣言による休園期間中にセミナーハウスエリアの建物群に防腐剤を塗装。長寿命化に貢献した。



京都府立海洋高等学校の海洋土木実習において、散策道整備と机づくりを行った。



生態調査



ハッチョウトンボの生態調査の他、公園の植生及び水質調査を定期的実施。

リトリート(仮称)事業

新たに個人・大人向けサービスを開発中。インターン生や外部講師と共にリニューアル準備を開始。



新メニュー開発



周辺地域視察



新規プログラム開発



テストルーム検討

日々の喧騒から離れ、自然の中で自分の時間をゆっくり過ごせるプランを検討。

・「食」の開発

『身体にいい、心にいい、環境にいい、目でも嬉しいちょっと特別な今日のごはん』をコンセプトに旬の食材を中心としたメニューを開発中。

・「プログラム」の開発

アロマや塩づくりなど自然素材を使用したプログラムや周辺地域を含めたツアーなどを検討。

・「空間」づくり

宿泊棟をはじめ、セミナーハウスエリアのしつらえを検討。ゆったりと過ごせる空間づくりをめざす。

NPO 事業

組織基盤強化を目的に実施。法人の根幹となる中長期計画づくりや、活動継続上安全衛生管理強化などを実施。



スタッフ会議



消防設備講習

・中長期計画づくり

法人の現状の課題や強み弱みを整理。中長期計画策定に向けての下地づくりを行った。

・安全衛生委員会

組織運営におけるリスクマネジメントを担う委員会を常設。毎月安全教育を行うとともに、災害などの非常時に対応できる体制整備を行った。

・5S活動

施設内や書類の整理整頓の他、労務規定など仕組面の見直しを行った。



機械取扱講習



フィールド踏査

お客様の声 (2020年度宿泊者アンケートより抜粋 原文そのまま)

- ・毎週ここで過ごしたい!!と思える程、静かで、冷蔵庫の音しかしません(笑)あいにくの雨でしたが、むしろ雨の音でより静かで落ち着きました。
- ・都会から離れ、心穏やかに過ごせれた。雨で心配でしたが、星がきれいに見え、子供達もはしゃいでくれた。
- ・一人でしたが安心して利用できました。親切な対応に感謝します。ありがとうございました。
- ・もっと高い価格でもよいと思う。立地環境はとても良いですね。設備清掃も行き届いています。
- ・食堂のおばちゃんに感謝しています。朝食が和食で良かった。朝食に卵や味付海苔がほしかった。
- ・食事の内容、味つけをもう少し変えればもっと良くなると思います。施設は木がいっぱい使われていてとても良かったです。全体的にはすごくいい宿なので又みんなで利用したいです。
- ・夕食は温かかったらもっと美味しかったと思うが18時15分に行ったため天ぷらなども冷めると本当はもっとおいしくてもおいしくなくなってしまふ。スリッパがほしい。音楽BGMがほしい。
- ・隣の人のドアを開け閉めする音がすごすぎる。

➡ 上記のようなご意見・ご感想を踏まえながら、質の向上と新型コロナウイルス感染防止対策を踏まえた新たなサービスを開発中。